

みんなのこえ

TOPICS

- ・CF 達成のご報告
- ・すてきなであい
- ・スタッフのこえ
- ・ご支援のおねがい

VOL.2

みんなのこえとは？

自立援助ホーム『みんなのいえ』で年2回発行される機関紙です。みんなのいえでの様子やイベントの報告、スタッフの声などを掲載します。



とっぷにゅーす クラウドファンディング達成のご報告！

2月からスタートさせていただいた、プロジェクト『親の「助けて」を受け止められる場所を創ります！！』は3月31日で期間終了を迎え、最後の最後までたくさんの方にご支援をいただくことができました。あたたかいご支援とご協力をいただき、どうもありがとうございました！ご支援の総額は、1,116,000円、そして、ご支援者の人数は128名と開始当初に設定させていただいた金額を大きく超えることができました。ネクストゴールと題して引き続きのご支援をお願いさせていただいてからも、プロジェクトを後押ししてくださる応援メッセージが私たちにたくさん届きました！子育てをされる親御さんを支えることが、子どもの未来を支えることにも繋がる！という私たちの想いに共感してくださり、プロジェクト中に直接ご支援してくださった方、拡散をしてご協力してくださった方、私たちのプロジェクトにご賛同くださった皆さんがいたからこそその目標達成でした！

『明日へのマーチ』という相談支援の場が、皆さまのご期待に添えるように、またここから頑張りたいと思います！引き続き『明日へのマーチ』の開設準備の進捗や、『みんなのいえ』の暮らしの様子をお伝えさせていただきたいと思います。どうぞ、この先も私たちを見守り、ご声援をよろしくお願いいたします！



『明日へのマーチ』プロジェクトページへ



NPO 法人 光と風と夢 代表 小倉 淳

すてきなであい ～ Amity いちはらさん来訪 ～

市原市で子ども食堂を運営している『Amity いちはら』さんが、みんなのいえの子どもたちのためにおいしいディナーを作りに来て下さいました。今回作ってくれたのは、ハンバーグと煮物とチーズケーキ。

皆さんとても手際良く料理を作っていきます。盛り付けもキレイにしていねいに。見栄えの良さにもこだわっています。味もとてもおいしく、若者たちも大満足でした。「私たちの料理を食べて、子どもたちに元気になってもらいたい！笑顔になってもらいたい！」という想いが届いた瞬間でした。また、Amityの皆さんはとても優しく、話好きな若者の話も何時間も耳を傾けてくださいました。話好きな若者は、たくさん話ができで大満足でした。『Amity いちはら』のみなさん、どうもありがとうございました！



みんなのいえのご近所さんが毎年行う、稲のタネ植えのお手伝いに参加させていただきました。

おぐらっちのこえ

みんなのいえを開設してから間もなく4年が経ちます。この間、入居した子どもは8名(内4名はここから巣立っていきました)、その一人一人と交わす日常でのやり取りは怒ったり、笑ったり、悲しんだり、傷ついたり・・・たくさんのやりとりをスタッフや子ども同士と積み重ねてきました。子どもからの暴言や心無い一言に心が折れそうになるスタッフをみて、子どもがこれまで受けた虐待の傷の深さを知ると同時に、暴力や力関係では他者に自分を理解してもらえないことを伝え、辛抱強く大人の方が子どもの変化を見守るようにしています。こうした、みんなのいえで積み重ねた経験や時間が社会で生きていくための活力になってくれるように子どもを支え、応援し続けることこそが、私たちスタッフの目指す姿、みんなのいえの真骨頂だと思っています。

みんなのいえの活動を通して出会えた方々からの応援が、私たちの原動力となっています。どうぞ引き続き、私たちの活動にご声援とご支援をよろしくお願いいたします。



すたっふのこえ

スタッフ：ジーニヨ

みんなのいえに勤務して早1年。スタッフとしての様々な課題が見えてきたように感じます。若者たちと過ごし、やりとりを繰り返しながら、彼らが一体どんな気持ちでいるのかを考えています。しかし、時に分からなくもなります。そういう時は先輩スタッフたちに相談しながら乗り越えています。若者たちは思春期な上、今までの大人との関わりによって頭を悩ませることも多いでしょう。そんな悩みを抱えて生きる彼らと共に過ごす時間の中で、僕自身も暮らしをしながら自分の課題を見つめ直す日々です。

関係性や結果がすぐには目に見えないこの仕事。まだまだ失敗も多く、スタッフとしては半人前です。毎日の努力を怠らず、細く長くをモットーに、これからも「暮らし」を大切に頑張っていきたいと思います。

自立援助ホーム「みんなのいえ」寄附金・おやつのお願い

『NPO法人 光と風と夢』が運営する自立援助ホーム『みんなのいえ』は、両親や身内からの虐待などによって、親元から離れてくらすことを余儀なくされた15歳から20歳までの子ども達の生活の場です。『みんなのいえ』には、現在、4人の若者たちが暮らしています。児童福祉施設からやってくる子ども、家庭裁判所からの補導委託等、育った環境もみな違い、子どもの抱える課題もさまざまです。定時制高校に通いながら、アルバイトをして生活に必要な費用を稼いでいる子どももいれば、なかなか就労までたどり着けずに悩んでいる子どももいます。『みんなのいえ』では、日用品費など生活に必要な最低限度のものは、国からの補助金の中で、なんとかやりくりしています。そこで、皆様に寄附金や家庭にあるお菓子など、ご寄附をお願いしたいのです。もしご家庭に以下に該当するものがありましたら、ぜひ『みんなのいえ』にお持ちください。よろしくお願いいたします。

「ご寄附」していただける方

寄附金 3,000円(一口)

・ゆうちょ銀行

口座番号：00200-6-90454

口座名称：特定非営利活動法人 光と風と夢

※この口座を他行等からの払込の受取口座として利用される場合は、下記内容をご指定ください。

・ゆうちょ以外の銀行から

店名：〇二九(ゼロニキュウ)店

預金種目：当座

口座番号：0090454

必要なもの

- ・封を開けていないお菓子(賞味期限が十分にあるもの)
- ・果物
- ・野菜(家庭菜園や畑で採れすぎたものなど)
- ・お米

・受付場所：みんなのいえ

千葉県市原市青柳568-1(※郵送も承っています。)

もしくは

・市民ネットワーク

千葉県市原市国分寺台中央7-1-5 1階